

# 錦江に生きる

ろくにん目

鵜瀬 裕豪さん(神之浜一區自治会)



▶いつも大切にしている気持ちだという標語と一緒に



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。  
第6回目は、神之浜一區自治会の鵜瀬裕豪さんです。

午後二時頃、鵜瀬裕豪さんの自宅を訪ねたら遅い昼食をとっていた。

裕豪さんは、家族で水産業(鮮魚・加工品)を営んでおり、毎朝四時に鹿児島市内の市場に向かい、そこで仕入れた海産物を町内の販売店や給食センターに卸している。朝のうちに終えなければいけないので片付けなども含めると必然的に遅い昼食になる。もちろんこれで仕事が終わるわけではなく、加工作業や配達などもあり、慣れるまでは体もきつかったという。高校卒業以来続けているので今は余裕も出来、合間に創作料理などを作って友人たちに振舞うこともしばしば。裕豪さんいわく「友人たちの反応を見て、好評なら今構想中の惣菜販売などのレパトリリーに加える」しかし、あくまでも裕豪さん個人の頭の中での構想らしく現実味は低いらしい。

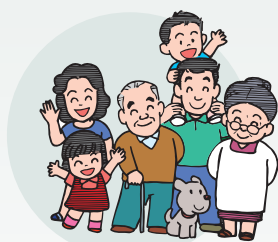
裕豪さんに、「趣味はなんですか」と尋ねたら「ボランティア活動です!そろそろ掃除の時間だから」と海岸沿いにある自宅を飛び出すと、熊手を取って海岸清掃を始めた。あまりにもタイミングが良すぎたので失礼ながらも一度尋ねたら「はい。後、野良猫や小鳥に餌もあげます。宝である子供たちを守るため運転中などは防犯パトロールもしてます」とのこと。自分の出来る範囲でいから地域に貢献していくことをモットーにしているという裕豪さん。商工会青年部では副部長をしており、夏祭りや盆踊り大会などのイベントでも中心となって活躍している。

最後に一言お願いしたところ、「世界中の人が、ここから見える夕日を眺めたら世界は平和なのにな」とつぶやいた。そして、「今度、野球の試合があるから、その写真もよろしく!じゃあその辺パトロールしてきます」と言い残して、姪っ子のピンクの自転車にピンクのヘルメットを被って去っていった。見所いっぱい青年だった。

錦江町

## おもで 思い出写真館

昭和30年頃の田代地区の子供たち  
荷馬車に乗せてもらい  
楽しかった時代  
みんな楽しそうに笑っています。



提供  
永野幸三さん(平石自治会)



### 写真のご協力をお願いします

「錦江町思い出写真館」に掲載する写真を募集します。  
撮影時期・場所・状況等を付けて、役場企画課へ持ち込むか郵送ください。お借りした写真は責任を持ってお返しします。  
掲載は受付順とさせていただきます。